

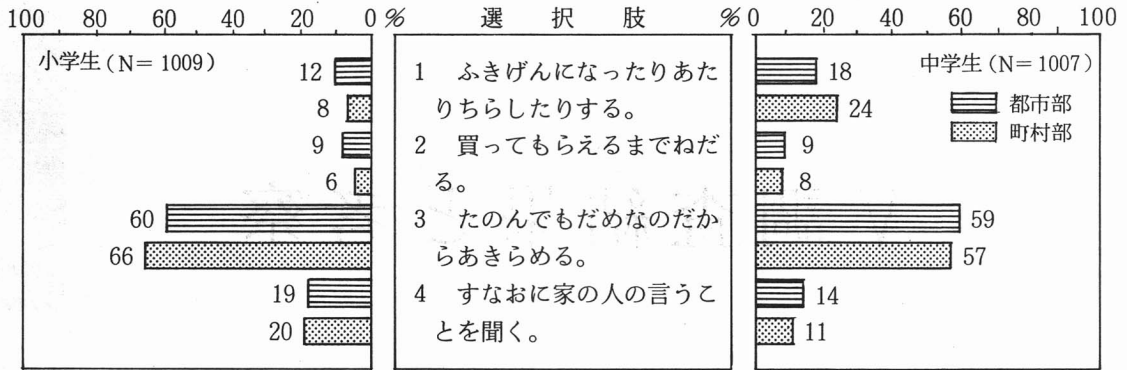
1 耐性を促進する特性・要因からとらえた児童生徒の実態とその考察

耐性特性〔意志力（要求・欲求）〕 家庭生活の場面

〔児童生徒〕

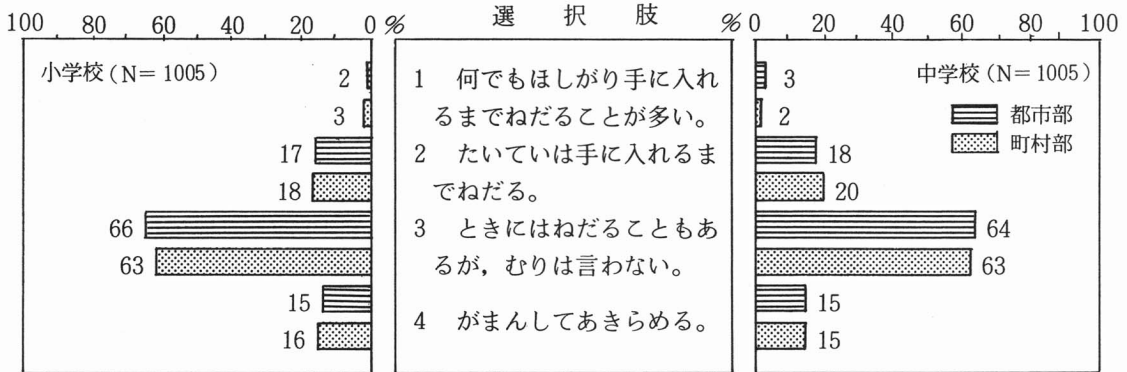
N……調査対象者数

問い どうしても買ってほしいものがあるが、家の人にたのみましたが、「だめ。」と言われました。あなたならどうしますか。



〔保護者〕

問い あなたのお子さんは、ほしい物を買ってもらいたいとき、あなたがことわった場合、どうしますか。



<考察>

家庭生活における児童生徒や保護者に対する物への要求・欲求についての設問の回答は、子供の自己評価と親の評価がほぼ一致した傾向で、小学生と中学生を比べても、ほとんど差はみられない。

現代の子供たちの傾向としては、欲しい物への執着心が強く、それを抑制する力はあまりないだろうと思われることから、回答は選択肢2に多く集まるものと予想した。しかし、調査結果では、選択肢3の回答が最も多く、選択肢4を合わせると、小学生83%、中学生71%に達する。したがっ

て、この結果をみる限りでは、物品に対する自己の要求や欲求を抑える力があると言える。

親も、選択肢3と4を合わせて小・中とも80%であることから、各家庭では、子供の要求・欲求をそのまま受け入れるのではなく、諸事象に応じた適切な指導やしつけがなされていると思われる。

しかし、注目したいことは、児童生徒の選択肢1と2の回答を合わせると、要求・欲求を阻止されたとき、小学生で約20%、中学生で約30%が、「ふきげんになってあたりちらしたり、買っても